

2008年3月期 決算説明会

決算説明資料



Money Partners

株式会社マネーパートナーズ

2008年5月19日



本資料は、株式会社マネーパートナーズの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2008年5月19日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズにより2008年5月19日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

I. 2008年3月期の決算及び事業の概況

II. 2008年3月期の取組み

III. 当社を取り巻く環境

IV. 今後の戦略及び重点課題

V. 当社の経営目標及び株主還元について

参考資料

I .2008年3月期の決算及び事業の概況

2008年3月期 連結決算のポイント

2008年より決算期を3月に変更(※)

① 顧客基盤は順調に拡大

総口座数	47,948口座	2007/12期比	14.4%増
預り証拠金	24,061百万円	2007/12期比	2.7%減

② 外国為替顧客取引高も順調に増加

取引高	約876億通貨単位	2007/1-3月比	22.0%増
-----	-----------	------------	--------

③ 営業収益1,677百万円、経常利益922百万円に

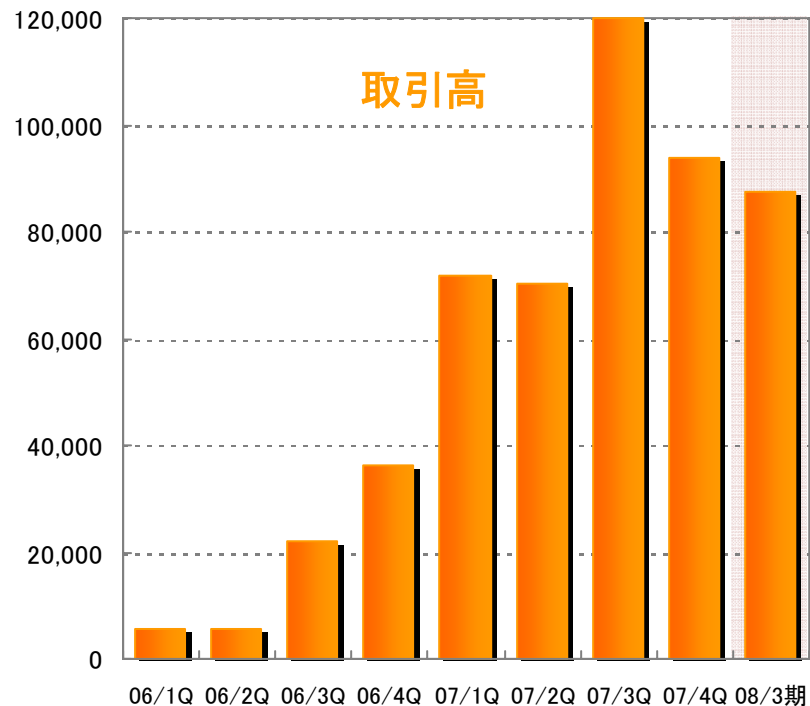
第2データセンター、ホワイトラベル対応など
将来を見越したシステム関連投資に注力

- 金融商品取引業の変更登録完了有価証券担保によるFX取引サービス展開の準備
- 日本格付研究所より新規に格付を取得
- 財務報告に係る内部統制(J-SOX)への対応
- 迅速性のある情報の開示を推進

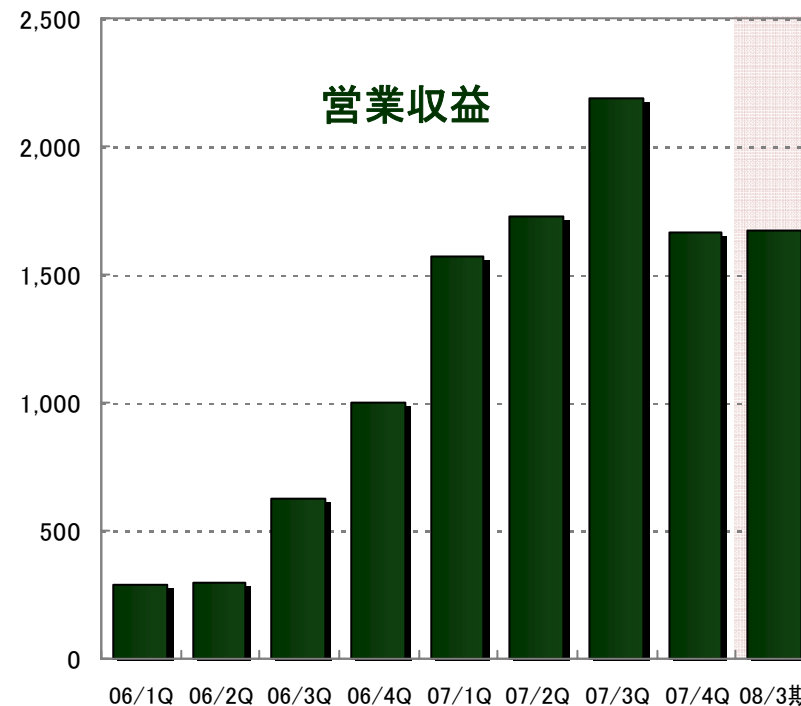
※2008年3月18日開催の第3回定時株主総会において定款の一部変更を行い、事業年度を毎年4月1日～翌年3月31日までと変更いたしました。
この経過措置として2008年3月期は2008年1月1日から2008年3月31日までの3ヶ月間となっております。

取引高と営業収益

(百万通貨単位)



(百万円)



(単位=外国為替取引高:百万通貨単位、営業収益:百万円)

	06/1Q	06/2Q	06/3Q	06/4Q	07/1Q	07/2Q	07/3Q	07/4Q	08/3期 (変則決算)
外国為替取引高	5,082	5,659	22,139	36,365	71,828	70,229	120,069	93,972	87,605
営業収益	289	299	624	1,003	1,568	1,723	2,186	1,665	1,677

取引高は前四半期比で微減、営業収益は前四半期比で微増

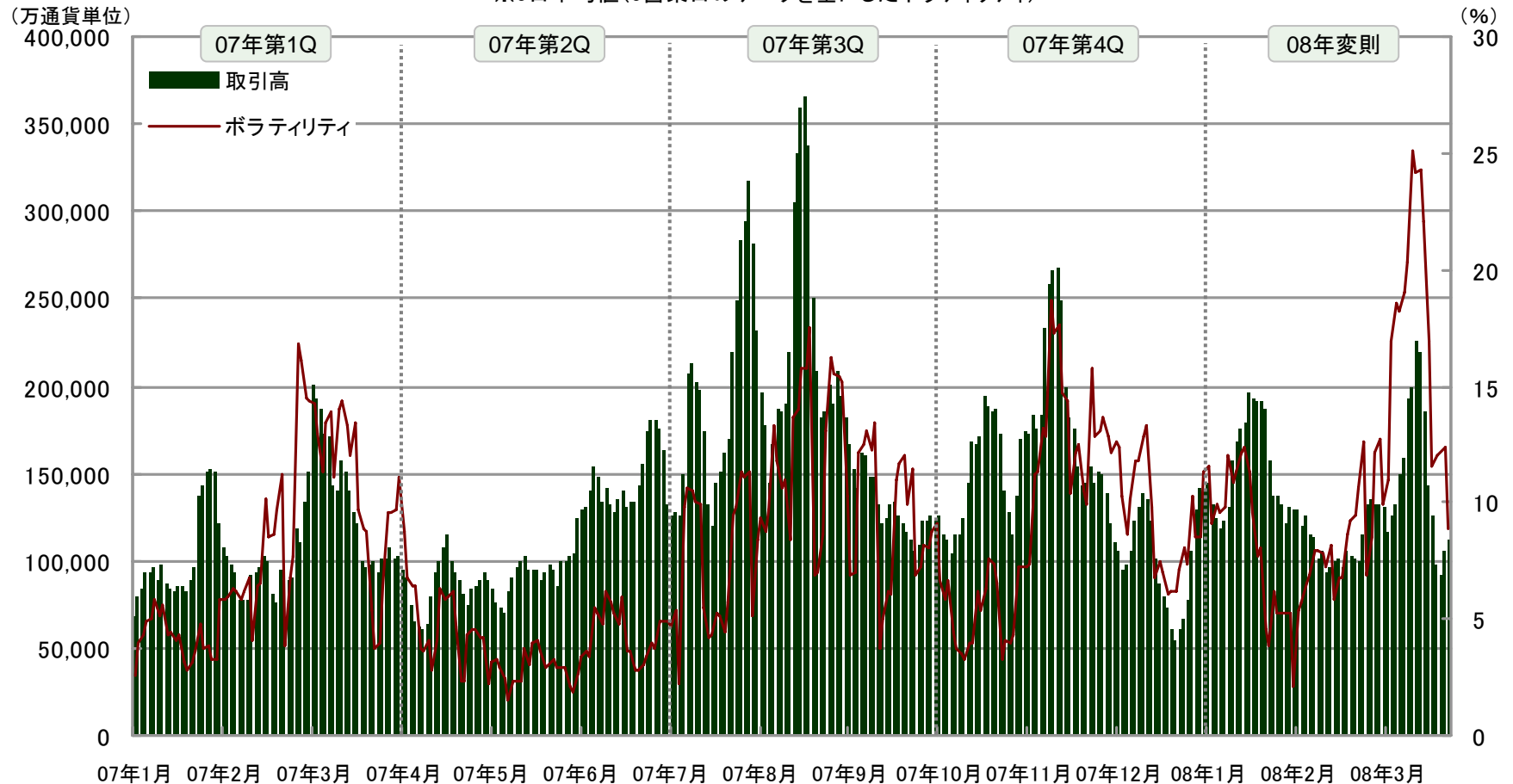
USD/JPY日足チャートと当社営業収益の推移



「米サブプライム問題」に端を発した米国景気後退懸念により、円高が進行
 3月には一時95円台をつける急激なドル安円高に→急激な円高においても当社の収益は安定的に推移
 ▶ ドル高・円高に関わらず値動きに影響を受ける収益構造

出来高・ドル円ボラティリティ

※5日平均値(5営業日のデータを基にしたボラティリティ)



3月にはボラティリティは大きく変化したものの、短期間の急激な円高方向へのシフトのみ



売買機会が拡大せず、出来高も前四半期と同程度に

四半期業績推移

単位: 百万円

	2006/12期	2007/12期				2008/3期	前四半期 (07/4Q)対 比増減	前年同期 (07/1Q) 対比増減
	4Q (10月~12月)	1Q (1月~3月)	2Q (4月~6月)	3Q (7月~9月)	4Q (10月~12月)	変則決算 (1月~3月)		
営業収益	1,003	1,568	1,723	2,186	1,665	1,677	0.7%	7.0%
受取手数料	1	1	0	1	0	1	12.5%	-35.1%
外国為替取引損益	1,001	1,566	1,722	2,184	1,664	1,676	0.7%	0.7%
営業費用	360	487	564	726	689	754	9.5%	54.6%
販売費及び一般管理費	360	487	564	726	689	754	9.5%	54.6%
営業利益	642	1,080	1,159	1,459	976	922	-5.5%	-14.6%
経常利益	642	1,079	1,098	1,430	972	922	-5.2%	-14.6%
税金等調整前四半期純利益	622	1,079	1,095	1,430	927	922	-0.5%	-14.5%
四半期純利益	516	665	710	880	594	585	-1.5%	-12.1%
経常利益率	64.0%	68.8%	63.7%	65.5%	58.4%	55.0%	-	-

1. 2008/3期は、米国景気後退懸念等の影響により、対前四半期比で営業収益0.7%増
2. 経常利益はシステム関連投資による営業費用の増加で、対前四半期比で5.2%減
3. 営業収益経常利益率は、やや低下したものの55.0%と引き続き高水準を維持

四半期販管費推移

単位: 百万円

	2006/12期	2007/12期				2008/3期	前四半期 (07/4Q) 対比増減	前年同期 (07/1Q) 対比増減
	4Q (10月~12月)	1Q (1月~3月)	2Q (4月~6月)	3Q (7月~9月)	4Q (10月~12月)	変則決算 (1月~3月)		
人件費	135	136	156	175	199	188	-5.5%	37.8%
広告宣伝費	35	67	76	145	49	53	9.3%	-20.7%
電算機費	74	115	133	171	164	184	12.4%	59.9%
減価償却費	2	3	5	13	21	33	53.9%	743.8%
支払手数料	28	53	72	82	63	67	5.6%	26.1%
その他	83	110	119	138	190	226	19.0%	105.0%
販売費及び一般管理費合計	360	487	564	726	689	754	9.5%	54.6%

1. 電算機費は、第2データセンター構築着手に伴うデータセンター利用料やハードウェア及びネットワーク関連の保守料の増加等により、減価償却費は、第2データセンターに設置するネットワーク機器やアプリケーションサーバ等の追加取得等によりそれぞれ増加
2. その他の費用は、2007/12期4Qに課税売上割合の変動に伴う控除対象外消費税の振り戻し等があったため、租税公課が前四半期比17百万円増加したほか、株主総会費用8百万円や、証券業登録による取引所・協会費4百万円等の費用が新たに発生するなど、前四半期比19.0%増加

(ご参考) 2008年3月期 連結業績と販管費

単位: 百万円

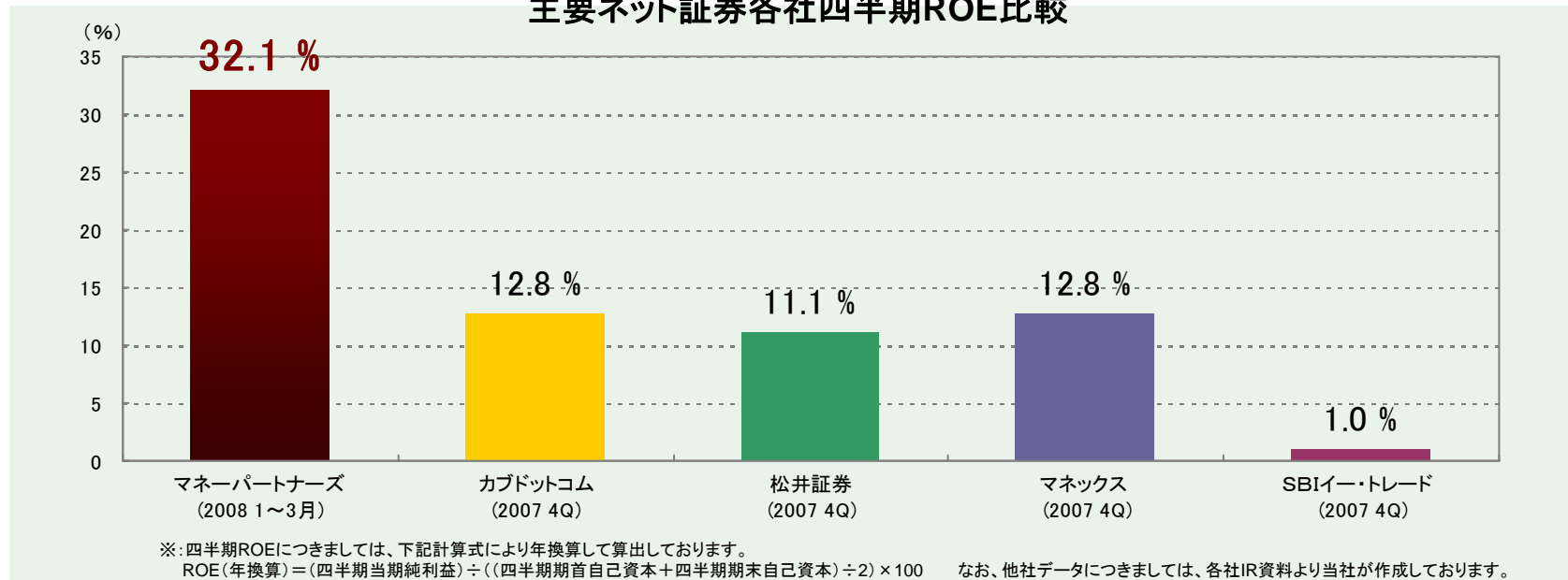
	2007/12期	営業 収益比	2008/3期 変則決算	営業 収益比	前年同期比 (増減率)
営業収益	7,143	100.0%	1,677	100.0%	-
受取手数料	5	-	1	-	-
外国為替取引損益	7,138	-	1,676	-	-
営業費用	2,468	34.6%	754	45.0%	-
販売費及び一般管理費	2,468	-	754	-	-
人件費	668	27.1%	188	25.0%	-
広告宣伝費	338	13.7%	53	7.1%	-
電算機費	585	23.7%	184	24.4%	-
減価償却費	45	1.8%	33	4.5%	-
支払手数料	272	11.0%	67	8.9%	-
その他	558	22.6%	226	30.0%	-
営業利益	4,675	65.4%	922	55.0%	-
経常利益	4,581	64.1%	922	55.0%	-
税金等調整前当期純利益	4,533	63.5%	922	55.0%	-
当期純利益	2,851	39.9%	585	34.9%	-

主要経営指標推移

単位: %、百万円

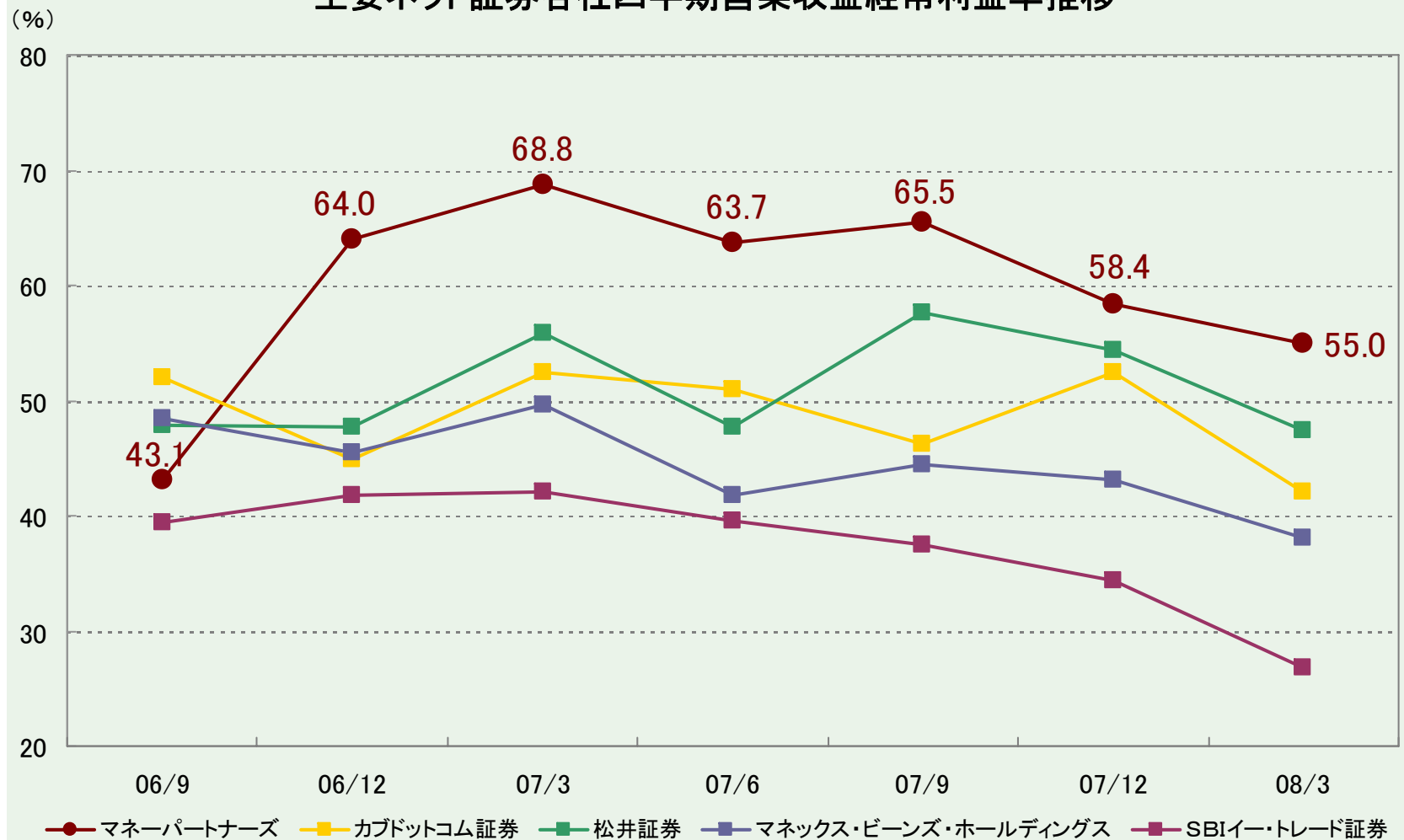
	2006/12期	2007/12期				2008/3期
	4Q (10月~12月)	1Q (1月~3月)	2Q (4月~6月)	3Q (7月~9月)	4Q (10月~12月)	変則決算 (1月~3月)
ROE(自己資本利益率)※	158.3%	140.3%	70.4%	56.1%	33.8%	32.1%
[参考]自己資本	1,564	2,230	5,839	6,724	7,035	7,226
営業収益経常利益率	64.0%	68.8%	63.7%	65.5%	58.4%	55.0%

主要ネット証券各社四半期ROE比較



ROEについては、前四半期に引きつづき高水準を維持

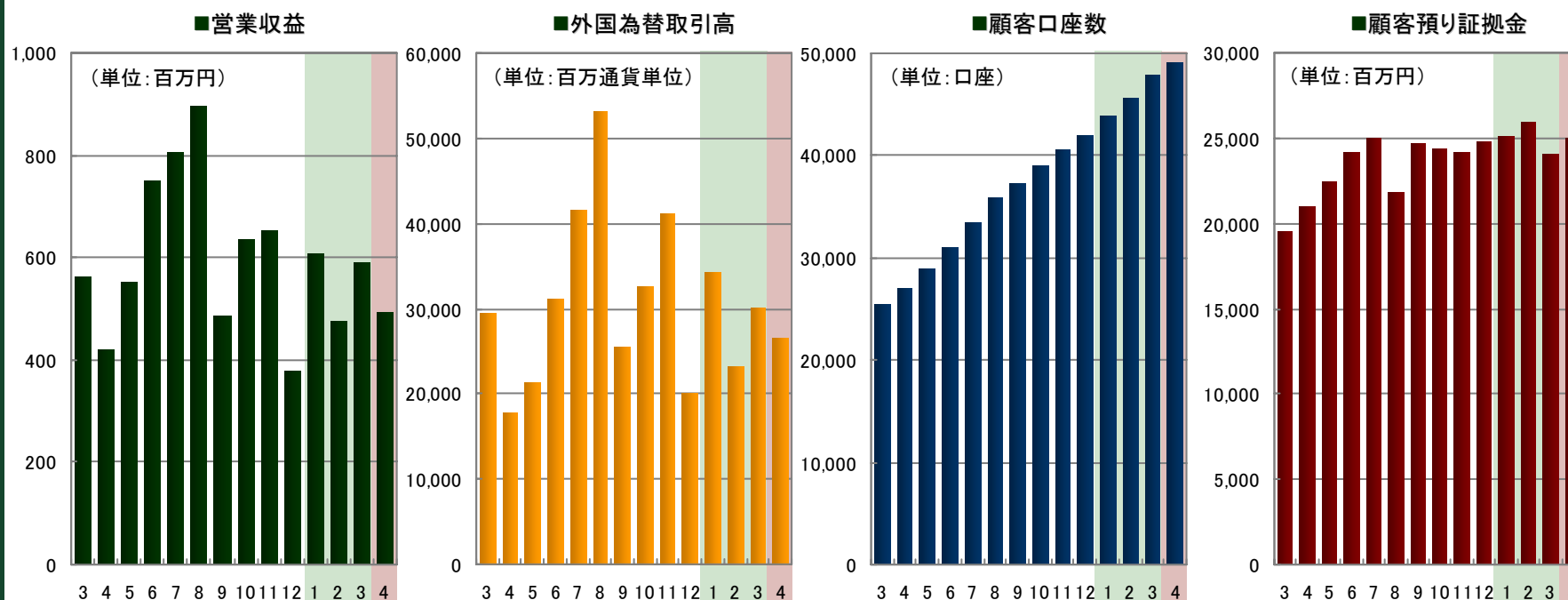
主要ネット証券各社四半期営業収益経常利益率推移



主要ネット証券との比較でも、当社は高い経常利益率を維持

2008年3月期 業績指標の推移

	07年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	08年1月	2月	3月	4月
営業収益(百万円)	561	421	551	750	806	895	484	636	651	377	608	477	591	494
取引高(百万通貨単位)	29,496	17,734	21,413	31,081	41,542	53,060	25,465	32,705	41,210	20,056	34,255	23,269	30,080	26,516
顧客口座数(口座)	25,458	27,017	28,897	31,078	33,506	35,859	37,326	39,027	40,669	41,911	43,967	45,731	47,948	49,092
顧客預り証拠金(百万円)	19,507	20,973	22,430	24,188	24,980	21,819	24,712	24,372	24,172	24,737	25,123	25,942	24,061	25,009



顧客口座数は順調に拡大し、5月7日をもって顧客口座数は5万口座を達成

II. 2008年3月期の取組み

システム関連の取り組み

- ① 第2データセンター、システムの一部を運用開始
- ② 新リスク管理システム『アセットコントロール』のリリース

顧客向けサービス関連の取り組み

- ① 取扱全通貨ペアの「スワップ・ポイント」と「ドル円レート」の商品性ブラッシュアップ
- ② 『ハイパースピード』の機能拡張
- ③ 積極的なWebセミナーの開催

証券業の登録

- ① 金融商品取引業の変更登録完了
- ② 有価証券担保によるFX取引サービス展開の準備

第2データセンター システムの一部を運用開始

第1データセンター

HP 9000 Superdome x2
Oracle Database 2 Node RAC



〈HP 9000 Superdome〉

-スペック概要-

64bit HP-UX
最大64core x2台
Itanium 9000番台
高速チップ搭載

ダークファイバ及び専用線
により2重化のギガビット接続

第2データセンター

IBM System p595 x2
Oracle Database 4Node RAC



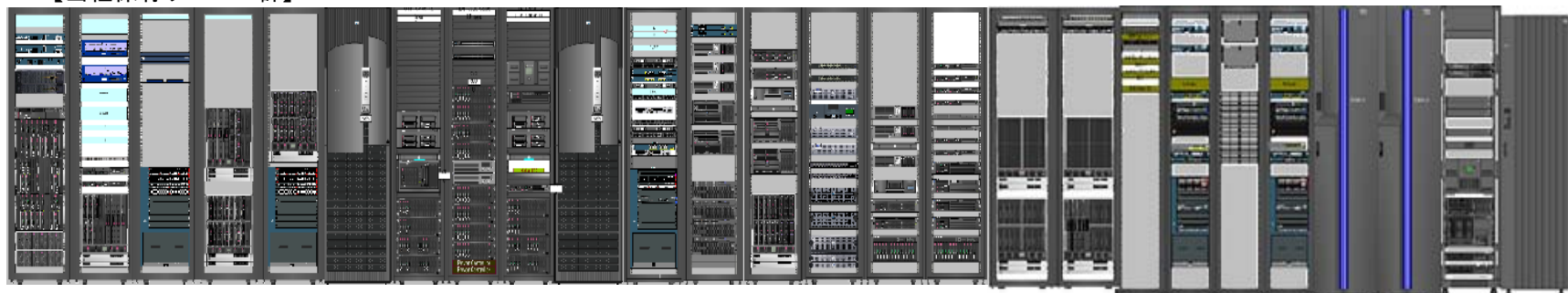
〈IBM System p595〉

-スペック概要-

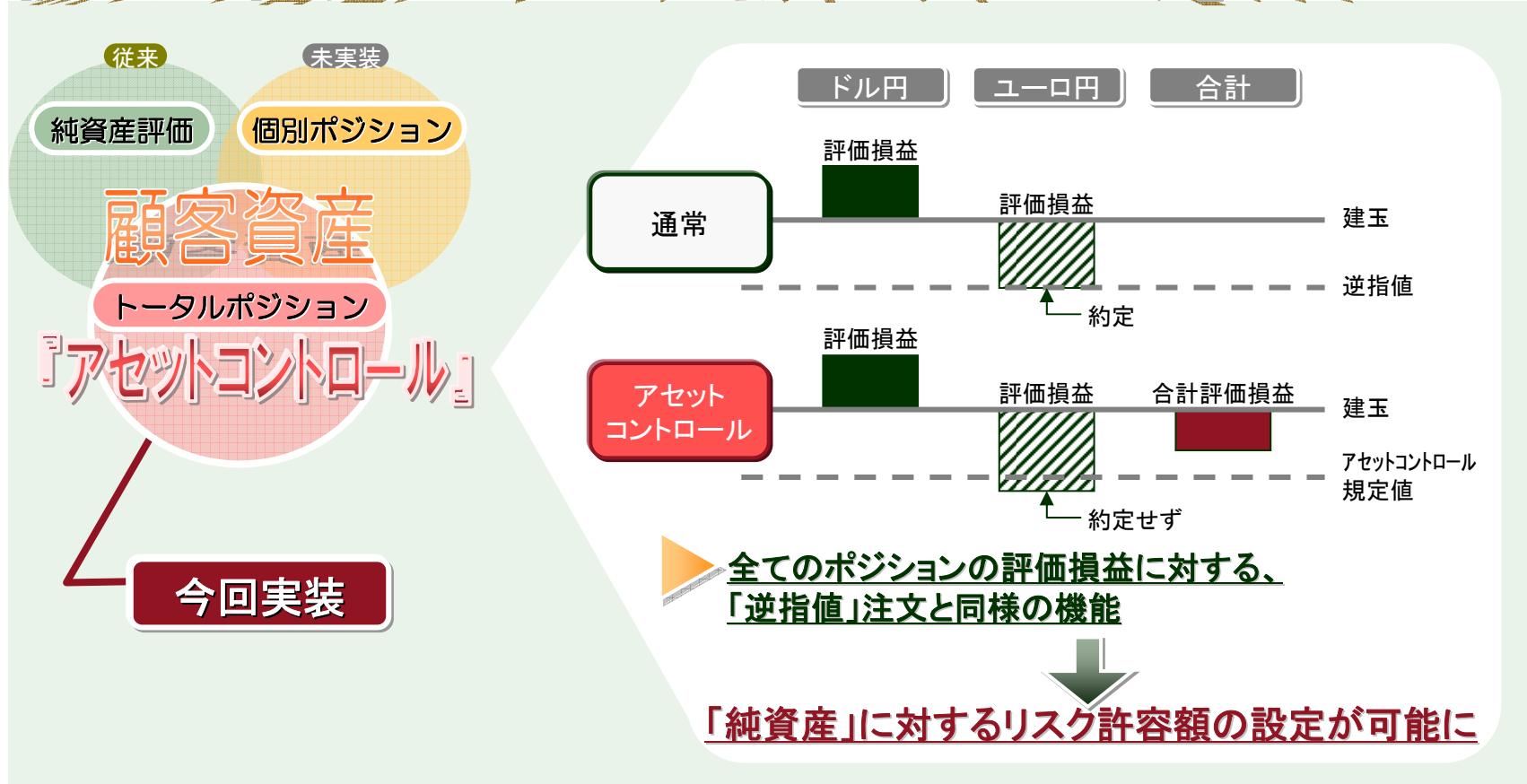
64bit IBM AIX
最大64 core x2台
Power 5+
高速チップ搭載

ネット証券に並ぶ、FX専業において最高水準の安定したシステムインフラを提供

【当社保有サーバー群】



新リスク管理システム『アセットコントロール』のリリース



個別ポジション毎のリスク管理システムは今年度中に実装予定

より細やかなリスク管理を可能とし、顧客の資産管理をサポート

商品性の更なるブラッシュアップ

全通貨ペアのスワップスプレッドのナロー化

■2008年3月まで

	スワップスプレッド
米ドル/円	1pip(1円)
ユーロ/円	1pip(1円)
豪ドル/円	1pip(1円)
NZドル/円	1pip(1円)
英ポンド/円	3pips(3円)
ユーロ/米ドル	3pips(3セント)
カナダドル/円	3pips(3円)
スイスフラン/円	3pips(3円)
英ポンド/米ドル	3pips(3セント)
南アランド/円	3pips(3円)

■2008年3月14日

全通貨ペア
(10通貨ペア) **1 pip** へ

受取スワップの増加/支払スワップの減少
など取引上の利点を強化

※1pip 各通貨における最小変数動幅
※スワップスプレッドはマーケットの状況によりやむをえず拡大する場合があります。

ドル/円スプレッドの更なるナロー化

■2008年1~3月

平時における提示ドル/円
スプレッドを3銭恒常化

■2008年4月23日

ドル/円スプレッドを2銭で提示開始

■2008年5月12日

ドル/円スプレッド **2 銭** 恒常化へ

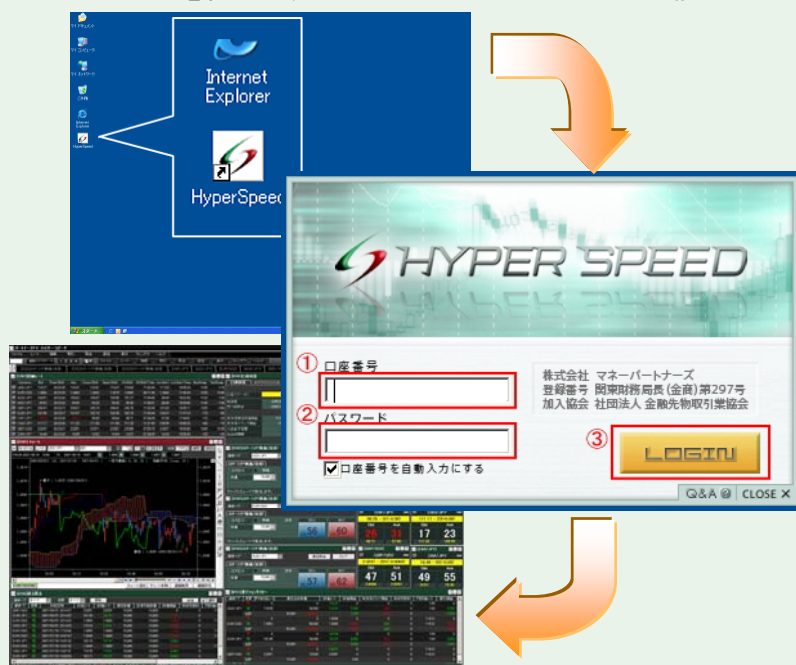
ディーラブルプライス(約定可能価格)にて
ドル/円スプレッド2銭を実現

顧客満足度を高め、顧客基盤の拡大を実現

ハイパースピード機能拡張 WEBセミナーの提供

■ハイパースピードの利便性を向上

ハイパースピードへ直接ログイン出来る機能を追加
WEB取引画面にログイン後ハイパースピードを起動する方式から
WEB取引画面を経由せずにハイパースピードにログイン可能に



■2008年1月以降のWEBセミナー

= 2008年3月期に実施したWEBセミナー =

- 1月7日 「激動の2008年をASストリーミングと『HYPER SPEED』で乗り切る！」
- 19日 「激動の2008年をASストリーミングと『HYPER SPEED』で乗り切る！」
- 23日 「今年もDon't stop！奥山泰全が語る2008年のマネーパートナーズとFXの将来」
- 30日 「武市佳史が語る！FRB・突然の方向転換の謎～今夜のFOMC後のゆくえは？」
- 2月6日 「これであなたも世界が見える！～今すぐ始めよう！FX～」
- 13日 「勝率アップの鍵はリスク管理にあり！～どちらも大切“売り”と“買い”～」
- 16日 「勝率アップの鍵はリスク管理にあり！～どちらも大切“売り”と“買い”～」
- 20日 「『HYPER SPEED』を使いこなせ！～これで私もディーラーデビュー～」
- 27日 「気づいていますか？為替相場の意外なポイント～えっ、次の注目は米国債？～」
- 3月6日 「ファンダメンタルズを学ぼう！～知ってるようで知らないアメリカ経済指標～」
- 12日 「お客様からのご要望No.1テクニカルセミナー初級編～一緒に学びませんか～」
- 19日 「『HYPER SPEED』質問箱～あなたの疑問に答えます～」
- 26日 「年度末の武市セミナー！まだまだ続く？波乱のマーケット」

計13回のWEBセミナーを開催

当社の社長、アナリスト、コールセンター職員が、当社の顧客を中心とした受講者に対し、FXの仕組みやリスク管理について講義。
顧客満足度向上に向けた施策を継続的に展開。

顧客の当社へのロイヤリティ向上のために細やかな施策を実施

2008年3月24日 金融商品取引業の変更登録を完了

- 有価証券取扱い業務の営業開始に向け、取引ルールおよびシステムの整備を実施

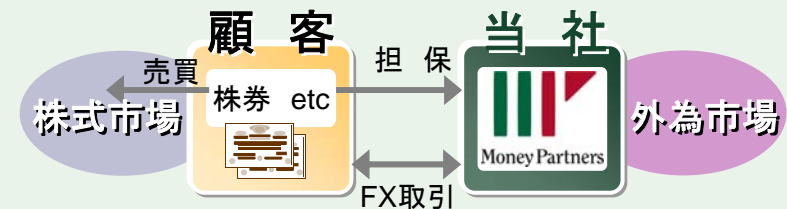
登録を受けた取扱い業務

- ① 有価証券の売買、市場デリバティブ取引、外国市場デリバティブ取引
- ② ①の媒介、取次ぎ、代理
- ③ 取引所金融商品市場における①の委託の媒介、取次ぎ、代理
- ④ 有価証券等清算取次ぎ
- ⑤ 有価証券の売出し
- ⑥ 有価証券の募集若しくは売出しの取扱い又は私募の取扱い

当社の業務展開

顧客からの指示による有価証券売却の受託を開始

有価証券を担保にした
外国為替証拠金取引サービスの提供を開始



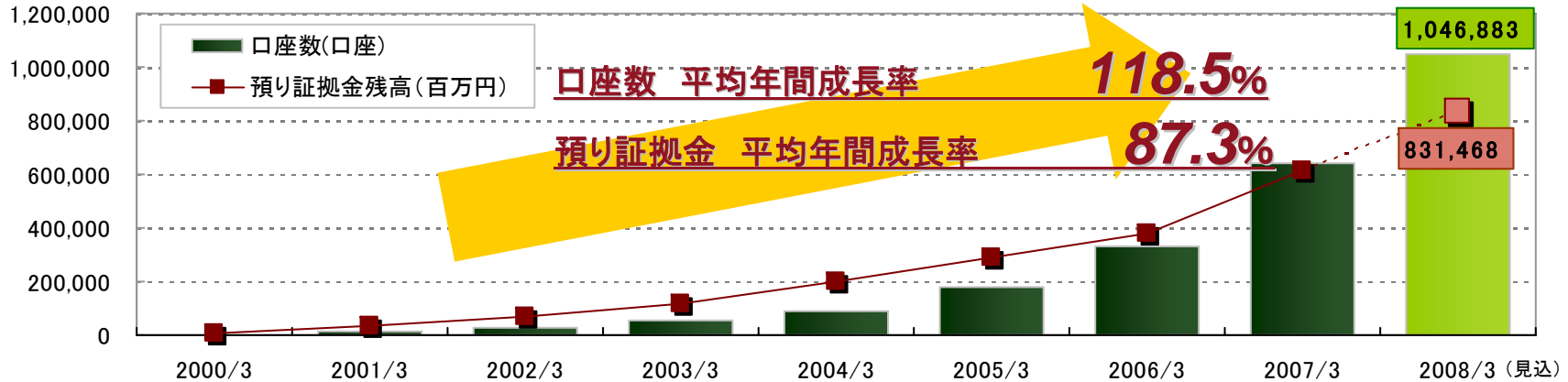
新たな顧客層の取り込みや顧客預り資産の増加により顧客基盤の拡大を図る

- | | |
|--------------------|---------------|
| ■ 証券取引口座の開設申込の受付開始 | 2008年4月21日(月) |
| ■ 証券取引口座の開設 | 2008年5月 9日(金) |
| ■ 代用有価証券の取扱いサービス開始 | 2008年5月12日(月) |

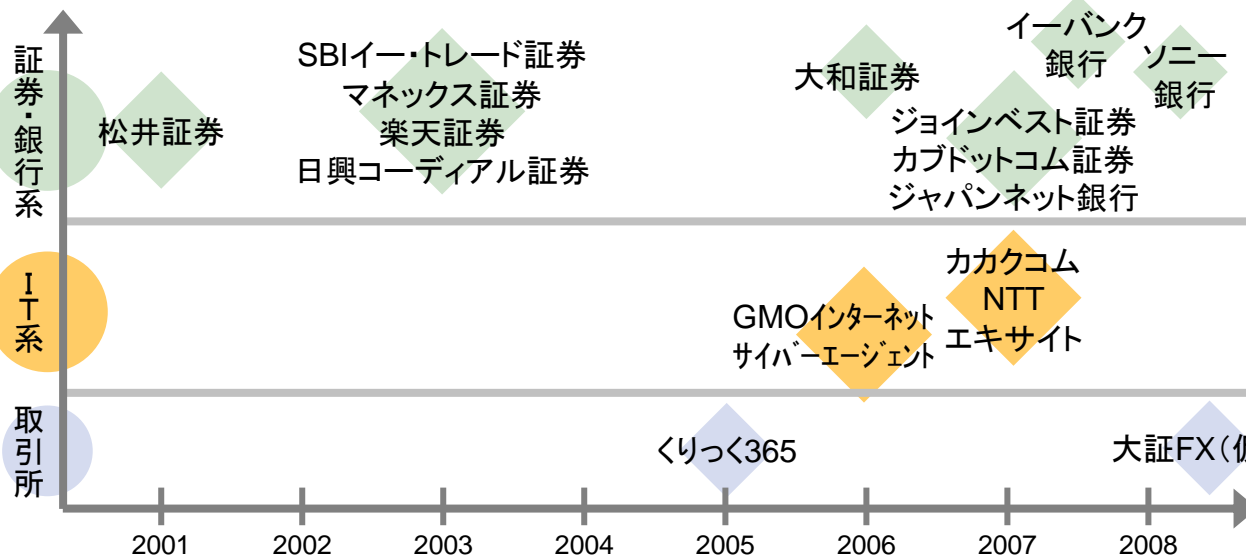
III.当社を取り巻く環境

FX市場は大きく成長、今後も拡大傾向

(数値は矢野経済研究所調べ)



FXの認知度の高まりと証券会社・IT系企業のFX参入

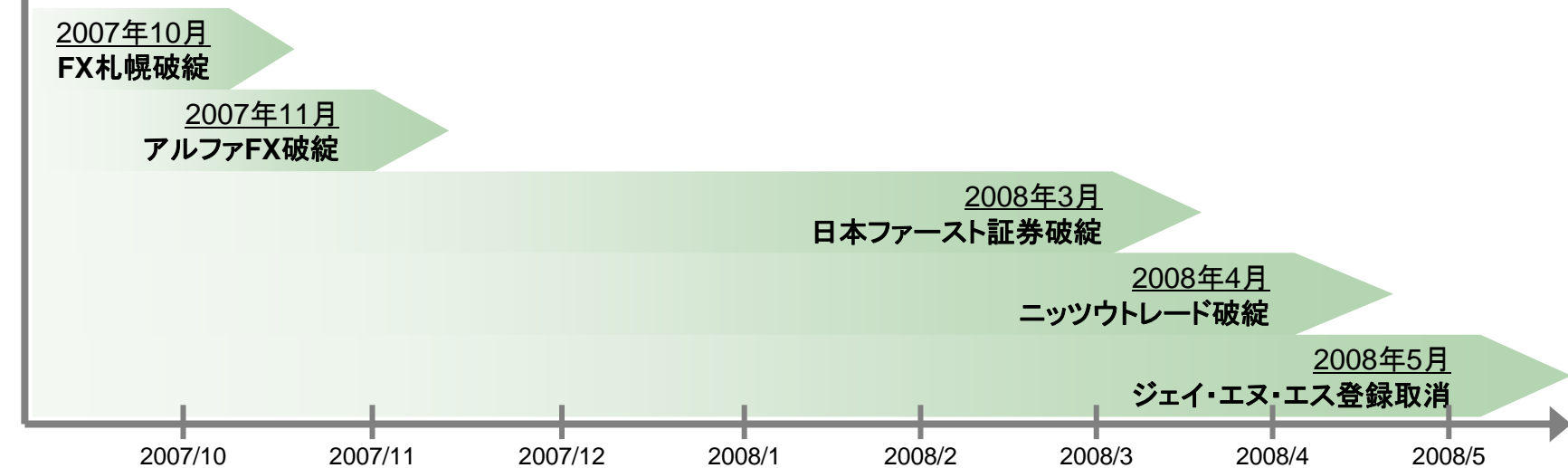


FXへの参入が加速

- ・大手証券、ネット証券など証券会社が続々参入。
- ・ネット銀行もFX参入へ。ソニー銀行は5月に営業を開始し、住信SBIネット銀行も参入予定。
- ・大証もFXビジネスを開始。(2009年3月予定)

FX業者の相次ぐ破綻や登録取り消しが問題に

2007年8月の米サブプライムローン問題に端を発した急速な円高以降、破産したFX業者は、FX札幌、アルファFX、日本ファースト証券、ニッツアウトレードの4社にのぼる。加えて、2008年5月ジェイ・エヌ・エスに対し、東海財務局が登録取り消し命令

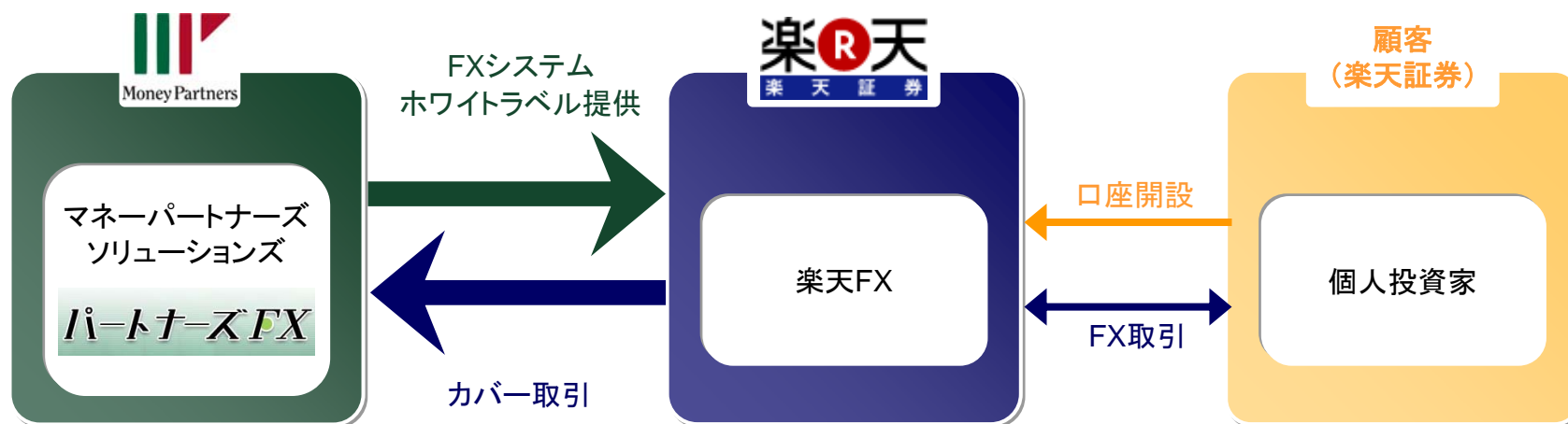


相次ぐ経営破綻やFX業者の不幸事から、当局の監視も厳格に

マーケット拡大の中、競争環境が激化
勝ち組、負け組がはっきりとわかれる2極化の様相

IV. 今後の戦略及び重点課題

楽天証券へのホワイトラベル提供開始



※ホワイトラベル ASP(アプリケーション・サービス・プロバイダー)サービスやシステムの提供等により 相手先ブランドによるエンドユーザーへのサービス提供を可能とするサービスパッケージ

今後の予定

- 2008年6月上旬 ホワイトラベル提供によるサービス開始(予定)

当社グループの持つ経営資源を有効活用し、スケールメリットを追及する

当社FXシステムのホワイトラベル提供の横展開を更に強化



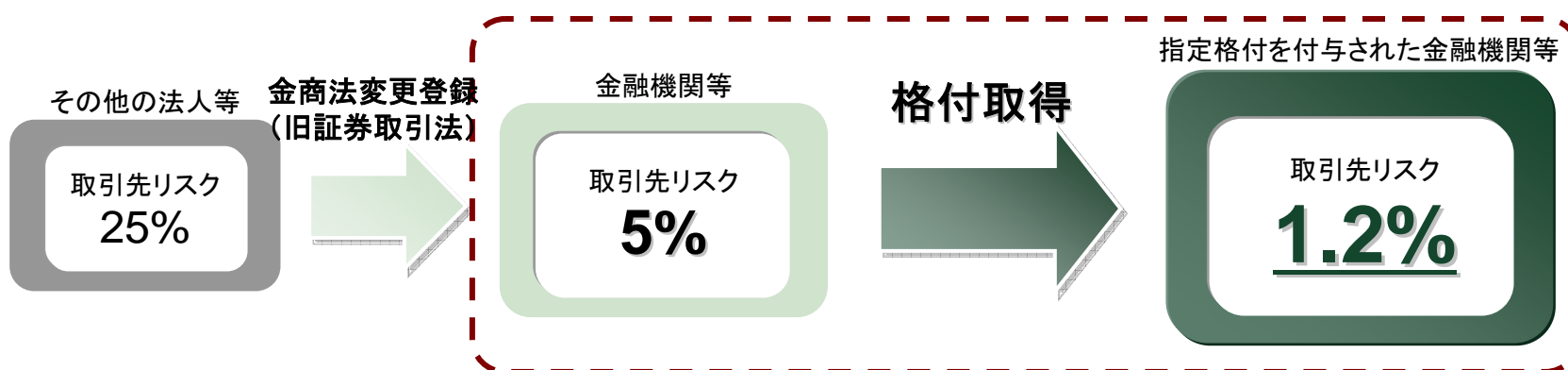
取引量の増加による、FX業界でのシェア拡大を図る

日本格付研究所より新規に格付を取得

格付対象及び格付

- ① 格付対象: 短期優先債務
- ② 格付 : J-3

格付け取得により、当社の取引先としてのリスク・ウェイトの低下を実現



他の金融機関に対するFXシステムのホワイトラベル提供拡大を目論んだ施策展開

ビギナーからセミプロまで、ツール・商品サービスで優位性を確保

■ 競合他社に負けないサービス及び取引環境を提供

- ・米ドル/円スプレッド2pipsでの提供(平時)
- ・「ディーラブルプライス」(実際に約定するレート)の提示と約定
- ・アプリケーション端末「Hyper Speed」、「Hyper Speedモバイル」の機能強化

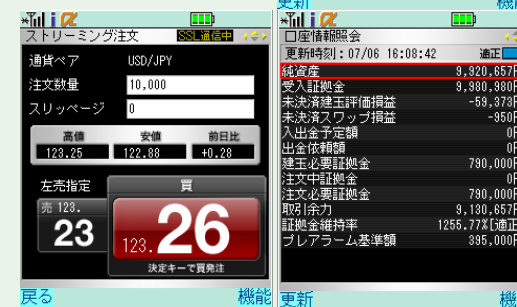
■ ビギナー用簡易トレードツールの市場投入を予定

- ・ユーザビリティ重視によりビギナー層の開拓に着手



「Hyper Speed」

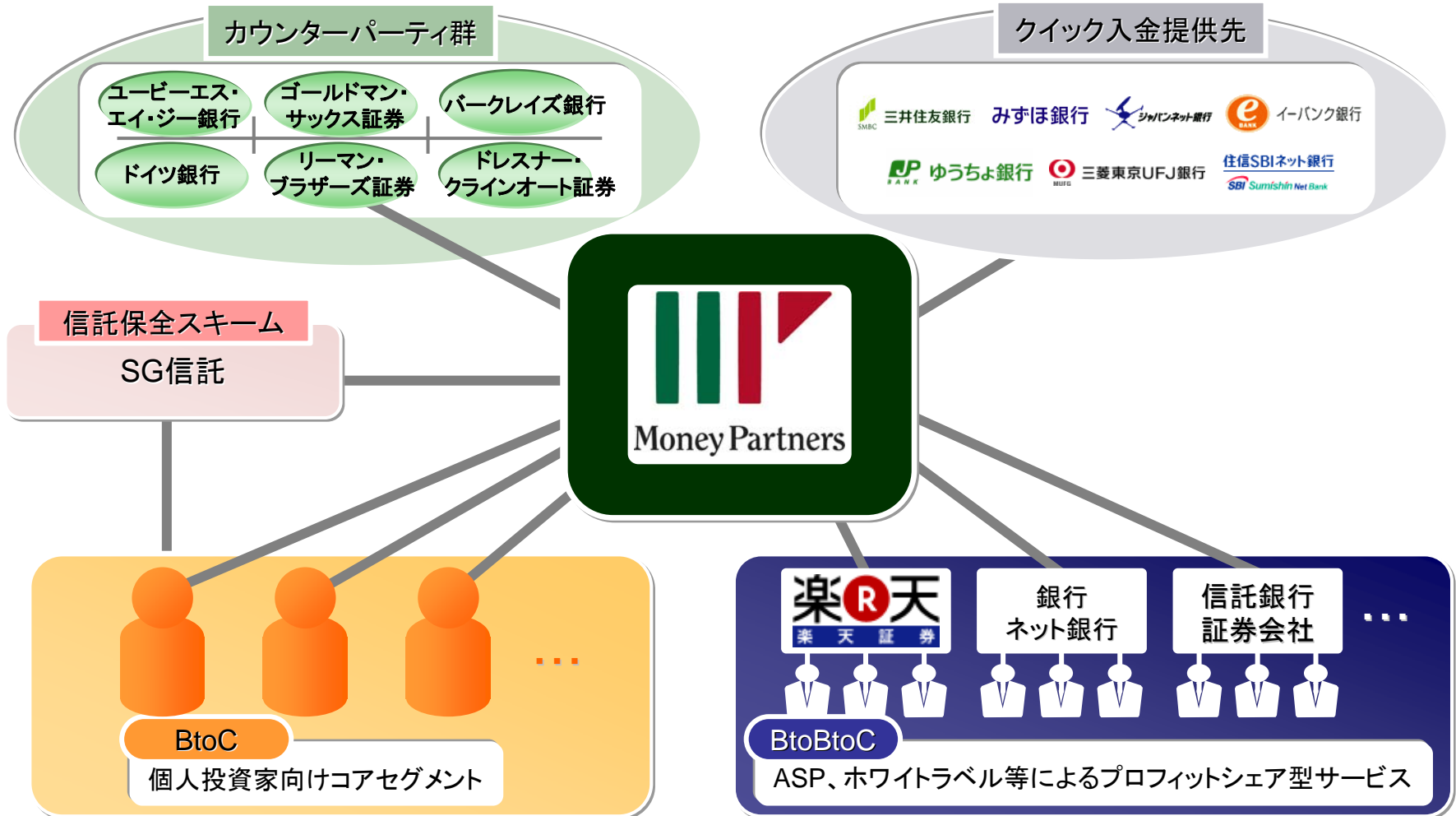
パートナーズFXの
更なる強化



「Hyper Speedモバイル」

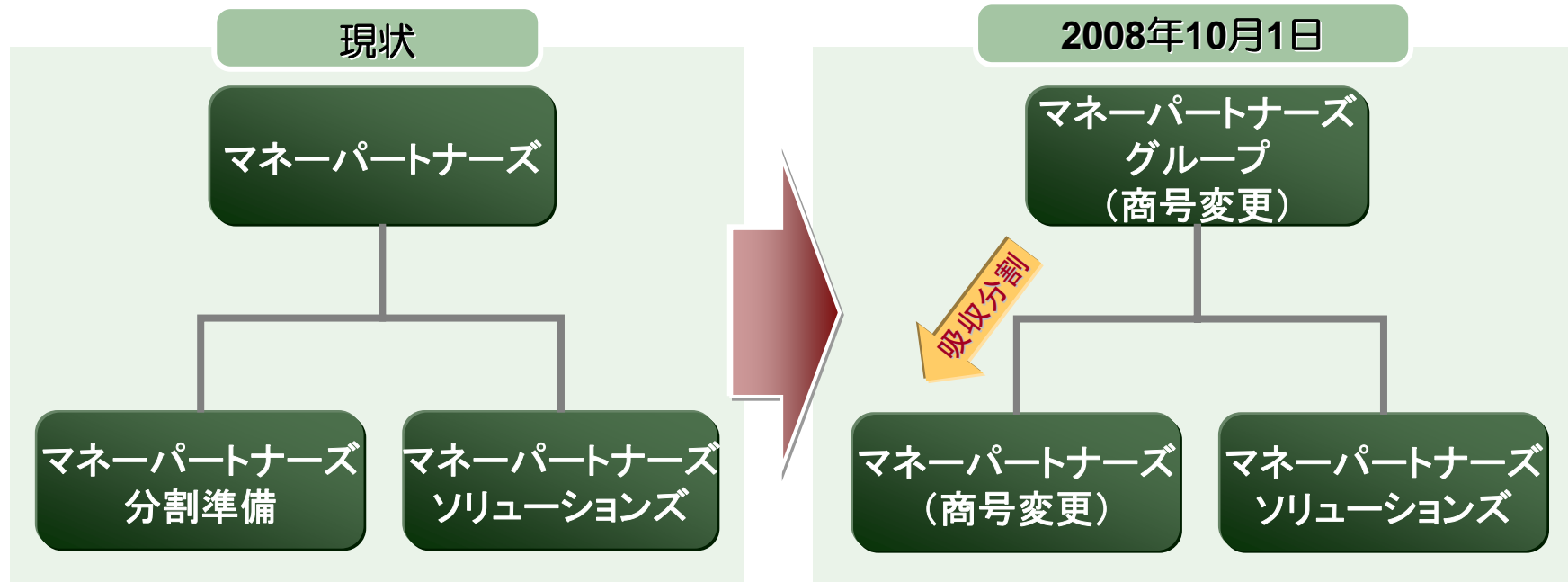
顧客ターゲットの拡大によりFXのさらなる一般化を目指す

■ マネパを取り巻く金融機関ビジネスパートナー群を拡大



コーポレートアライアンスの拡大によりビジネスシナジーを強化

■ 2008年10月1日に持株会社体制へ移行



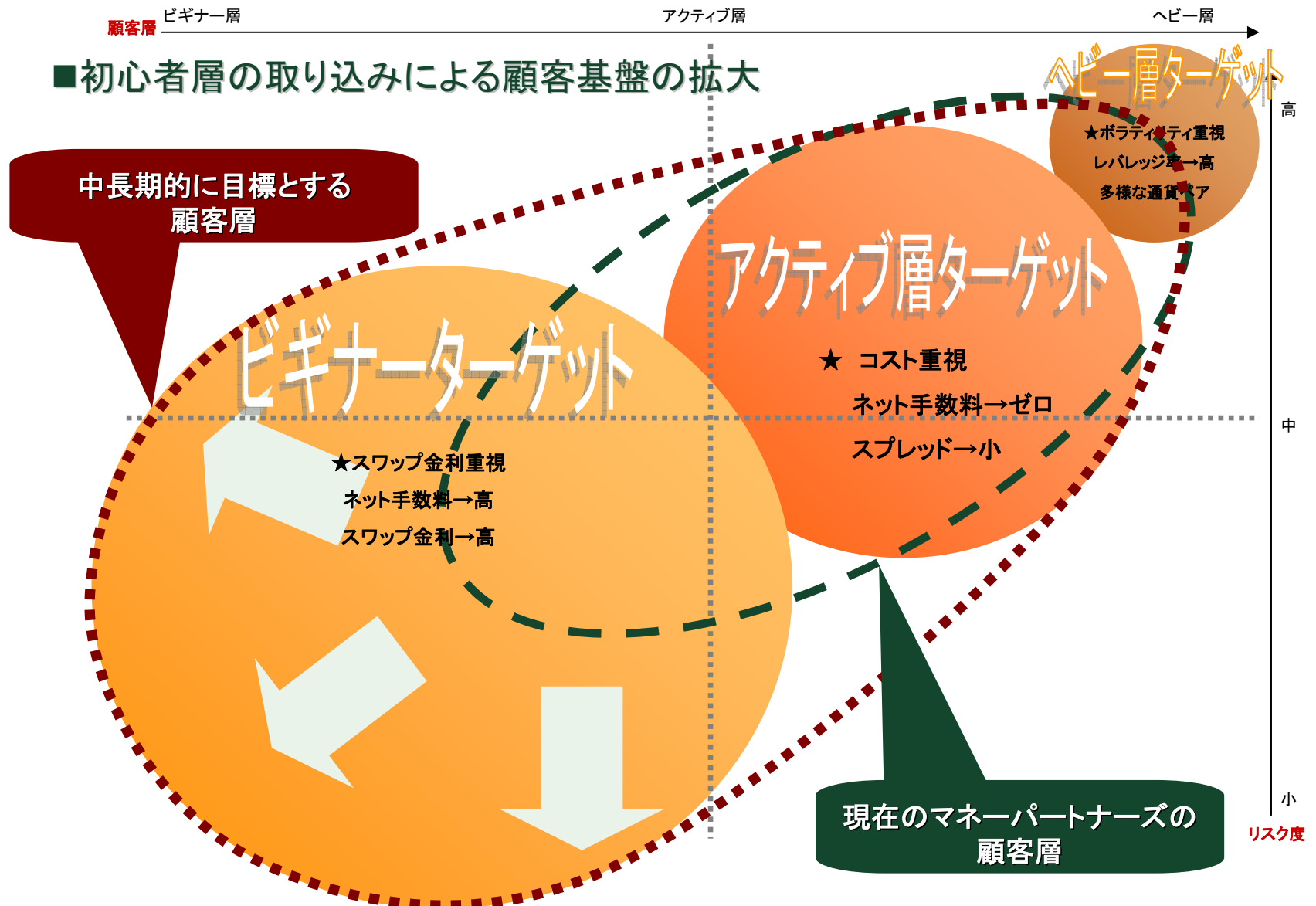
持株会社化の目的

- 環境変化、競争激化に対応し、資本の効率化と経営自由度の向上
- 管理機能と業務執行機能の分離を行いコーポレート・ガバナンス体制を強化
- 各事業会社の責任と権限を明確化
- 戦略的意思決定の迅速化、スピード感のある経営、機動的な業務執行を効率的に行う

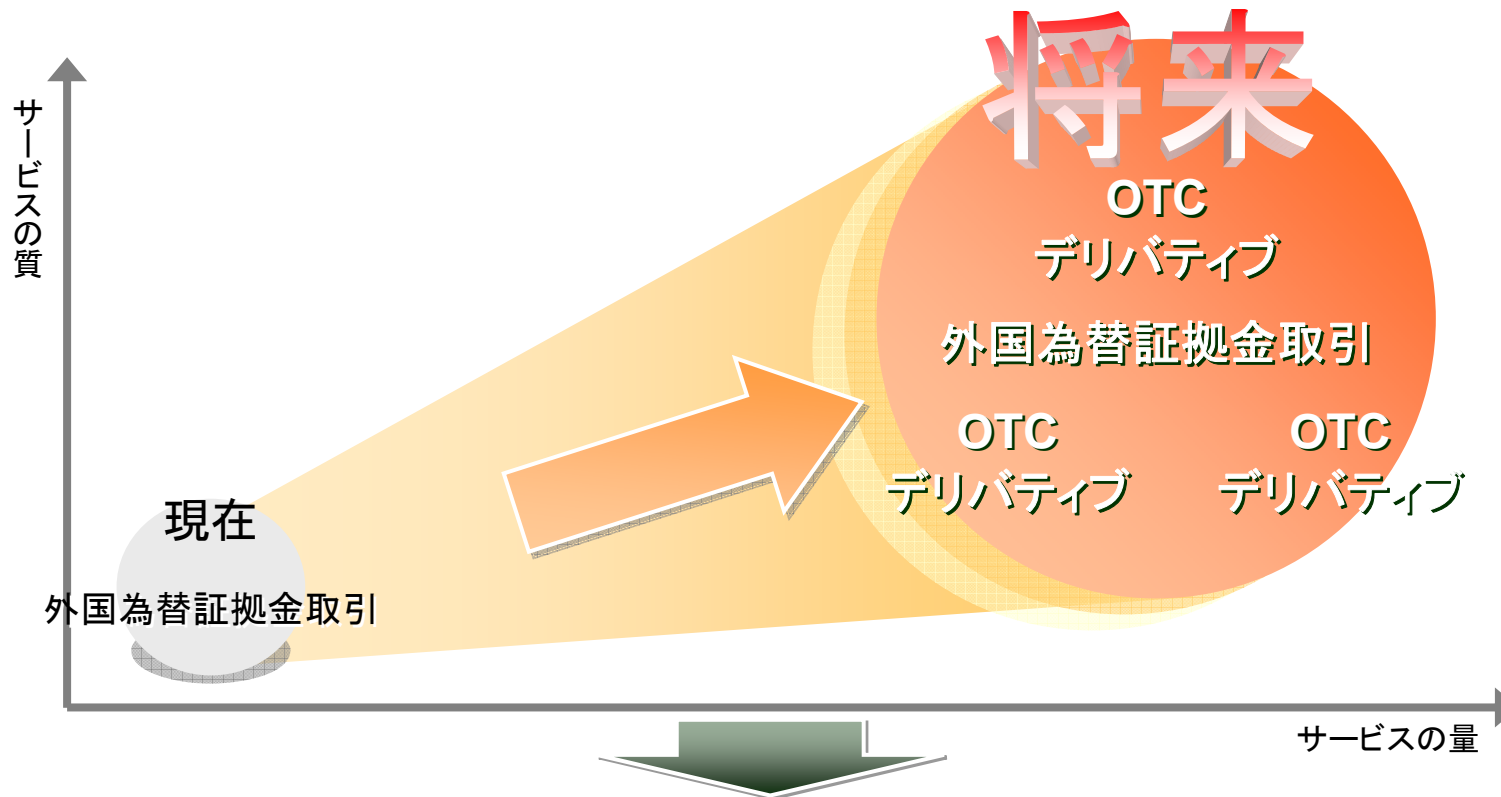
より一層の株主価値向上へ

- FXビジネスの横展開による収益源の多様化と収益率の更なる向上





- 外国為替証拠金取引をビジネスの基軸とし、顧客基盤と収益を拡大させ事業を展開
- 商品性の更なる向上、ツールの洗練化、取引システムの一層の安定化などを通して競争優位を確立
- OTCの特性を活かし、金融デリバティブ商品を展開し、FXに次ぐ収益の柱へ



顧客から信頼され、安心できる会社としての認知を獲得

V.当社の経営目標及び株主還元について

高水準のROEおよび営業収益経常利益率の維持

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指してまいります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ 2008年3月期のROEは32.1%を達成

- ・高水準のROEを維持。
- ・ROEの高水準維持のため、更なる効率化を目指します。

※:2008年3月期ROEにつきましては、下記計算式により算出しております。
$$ROE = (2008年3月期当期純利益 \times 4) \div ((2008年3月期期首自己資本 + 期末自己資本) \div 2) \times 100$$

▶ 2008年3月期の営業収益経常利益率は、55.0%となり、引き続き50%越えを達成。

- ・トランザクション型ビジネスモデルによる高水準の利益率。
- ・顧客基盤の安定的な増加と顧客による外国為替取引高の増加を目指します。

2008年3月期の配当政策および配当金について

当社株式を長期保有していただく株主の皆様へ業績に応じて株主配当を行うことで株主利益の最大化を目指してまいります。

配当政策

連結当期純利益の25%を
配当性向の目処とする予定

配当金額

1株当たり配当金

1株当たり配当金 = 585百万円(連結当期純利益) × 25% ÷ 317,760株(期末発行済株式数)

基準日	期末	年間
2008年3月期	460円	460円

※本件は平成20年6月17日開催予定の第4回定時株主総会に付議する予定であります



Money Partners

株式会社マネーパートナーズ

2008年5月19日

参考資料

- ・当社の概要と沿革について
- ・当社の事業内容、収益構造、強みについて
- ・パートナーズFXのご紹介

会社概要(平成20年3月31日現在)

- 商号 株式会社マネーパートナーズ

- 本社 〒106-6016 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー16F
- 代表取締役社長 奥山 泰全
- 設立日 2005年6月10日
- 資本金 17億4,188万円
- 登録番号 関東財務局長(金商)第297号

- 主な事業内容
 1. 金融商品取引法に基づく外国為替証拠金取引、有価証券関連業務及びこれに付随する一切の業務
 2. 外国通貨の売買、売買の媒介、取次ぎもしくは代理、その他これに付随する業務
 3. 金融商品取引業及びこれに付随する業務

- 関連会社 株式会社マネーパートナーズソリューションズ
(100%出資子会社)



社是

DON'T STOP!

止めない、止まらない。
マネーパートナーズの社是です。

企業理念

投資家の保護育成と顧客第一主義に努め、
外国為替証拠金取引市場の健全な発展に寄与する。

カスタマー
ファースト

イノベーション

バリューアップ

コンプライアンス

会社沿革

年月		事項
平成17年6月	新設分割	<input type="checkbox"/> 一般投資家向けにインターネット等を通じた外国為替証拠金取引サービスを提供することを目的として、株式会社マネーパートナーズを東京都港区西麻布(資本金100,000千円)に設立し、外国為替取引事業を開始
平成17年10月	システム一新	<input type="checkbox"/> インターネット取引の利便性の向上を目的として、株式会社シンプレクス・テクノロジーのトレードシステムを採用しシステムを全面的にリニューアル
平成17年11月	本社移転	<input type="checkbox"/> 本社所在地を東京都港区六本木へ移転
平成18年3月	クイック入金開始	<input type="checkbox"/> 金融先物取引業登録(登録番号:関東財務局長(金先)第117号) 社団法人金融先物取引業協会加入 <input type="checkbox"/> 顧客がインターネットによって常時入金可能な「クイック入金サービス」を開始
平成18年6月	信託保全開始	<input type="checkbox"/> エス・ジー・信託銀行株式会社と業務提携し外国為替取引における顧客資産の信託保全サービスを開始
平成18年7月	レバレッジ 25倍→50倍	<input type="checkbox"/> インターネット取引手数料無料及びレバレッジ約40倍から約50倍のサービス提供を開始
平成18年8月	8通貨→10通貨	<input type="checkbox"/> 南アフリカランド/円、英ポンド/米ドルを加え取引通貨を10通貨ペアに
平成18年9月	システム子会社設立	<input type="checkbox"/> システム開発力の強化を目的として、株式会社マネーパートナーズソリューションズを100%出資子会社として設立
平成18年11月	レバレッジ100倍 コース開始	<input type="checkbox"/> レバレッジ約80倍から約100倍とする「ハイレバレッジコース」のサービス提供を開始 <input type="checkbox"/> モバイル取引において複合注文機能を実装
平成19年1月	ロゴ・HP一新	<input type="checkbox"/> CI政策を実施しコーポレートマーク、コーポレートカラー、ホームページを一新 <input type="checkbox"/> 証拠金定額制の導入
平成19年6月	プライバシーマーク 取得	<input type="checkbox"/> 「プライバシーマーク」認定取得[認証番号:第A680011(01)号]
平成19年6月	上場	<input type="checkbox"/> 大阪証券取引所ヘラクレスに上場(証券コード:8732)
平成19年9月	第一種金融商品取引業 登録	<input type="checkbox"/> 金融商品取引法施行に伴い第一金融商品取引業者として登録(登録番号:関東財務局長(金商)第297号)
平成19年11月	HyperSpeed モバイル版リリース	<input type="checkbox"/> 『Hyper Speedモバイル』(i-アプリ)リリース
平成19年12月	HyperSpeedVer.2.2 リリース	<input type="checkbox"/> 『Hyper Speed』Ver.2.2リリース
平成20年3月	金融商品取引業の 変更登録完了	<input type="checkbox"/> 有価証券の取扱い業務開始

平成18年7月よりインターネット取引手数料の完全無料化

Foreign Exchangeの略 ⇒ FX取引

1998年外為法改正



為替取引の完全自由化

個人投資家の取引活発化



マーケットオリエンテッドな取引商品

2005年改正金先法施行



業者の乱立と淘汰（600社→100社強）

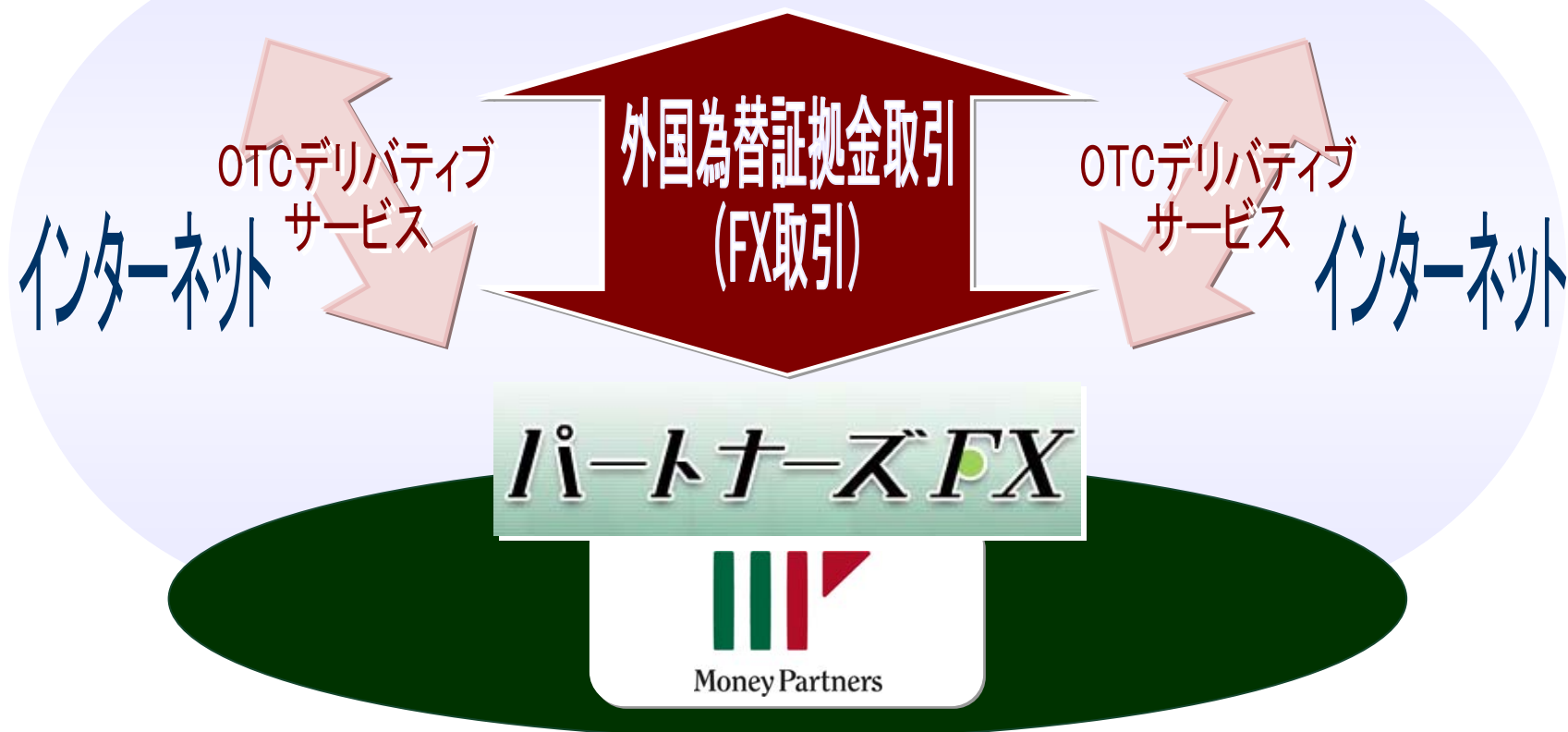
2007年9月金商法施行



証券会社と同種扱いの金融庁管轄に
透明性や内部管理体制の更なる厳格化

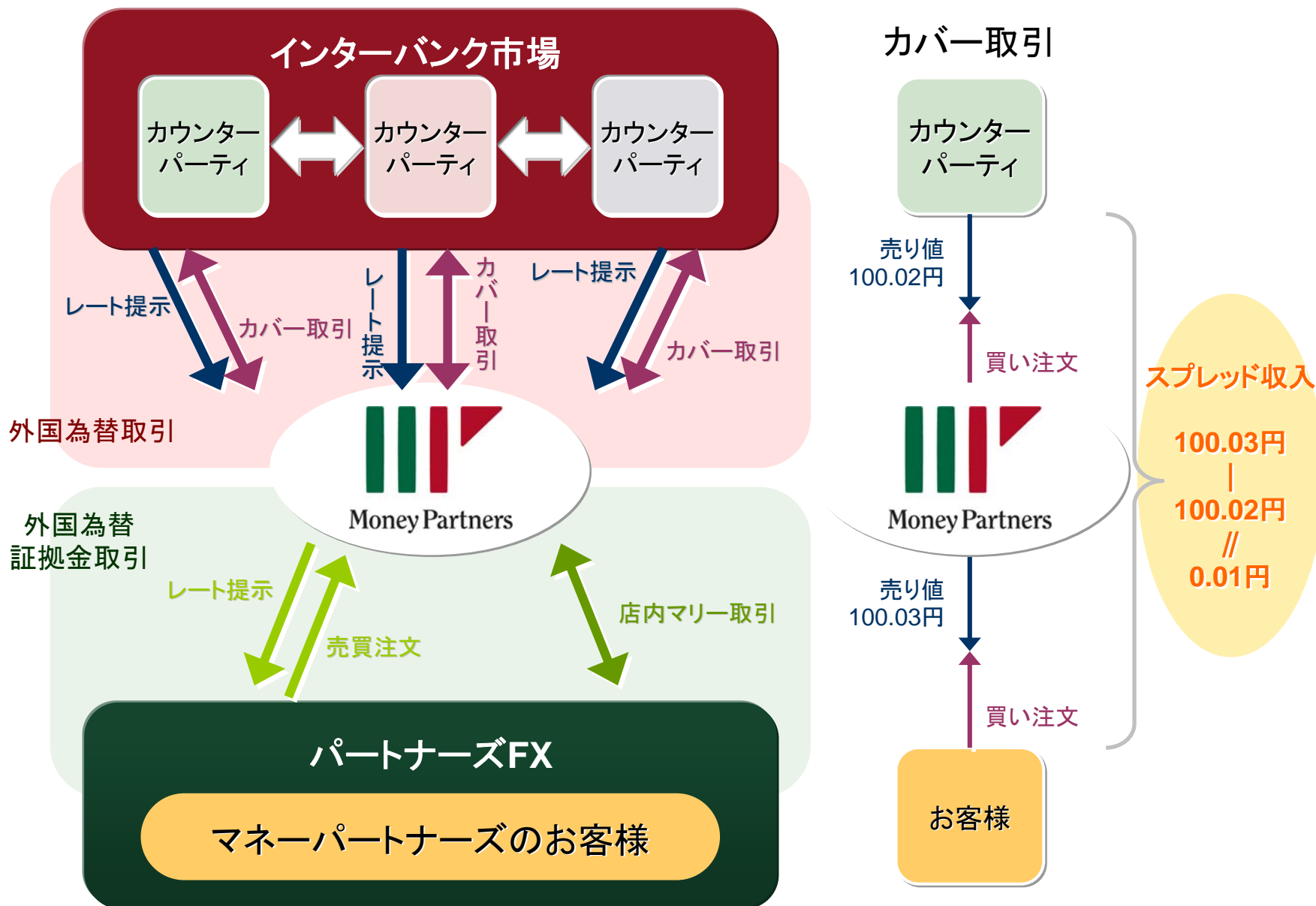
- 激化する競争環境の中、成否二極化の様相！！
- マネーパートナーズはFX専業・ネット専業の業者として業績を拡大しています。

個人投資家



- 当社は、外国為替証拠金取引 (FX) 専門の会社です
- 当社は、取引のほぼ全てをインターネットで行っております
- 当社は、FXを軸にOTCデリバティブサービスを展開していきます

当社の収益構造



1. トランザクション型ビジネスモデル構築による高収益性

- 手数料や会員費に頼らないトランザクションに依拠した収益構造の優位性
- 国内の同業者の中で早期にインターネット取引手数料無料化を実現したことにより顧客増加→取引量の増加の好循環を実現し、収益は大きく拡大
- 固定費微増、トランザクション急増により、高い収益を獲得

2. アクティブユーザーをコアにした顧客基盤

- インターネットによりデイトレードやスイングトレードを行うアクティブ層の取り込みと定着化に成功
- ビギナー層の取り込み ⇒ アクティブ化への教育・啓蒙 ⇒ アクティブ層の拡大を戦略的に展望

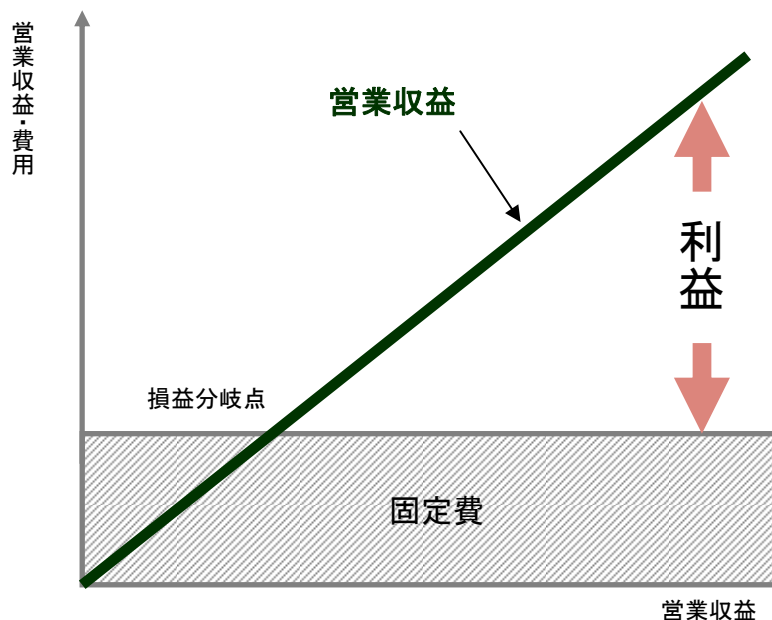
3. 子会社を通じたシステムの内製化

- 100%出資のシステム子会社を設立したことで、柔軟・迅速な対応が求められるネット企業においてシステム設計・開発、自社所有、システム保守・運用に関する優位性を確保

1. トランザクション型ビジネスモデル構築による高収益性 ～トランザクション型ビジネスモデルとは～

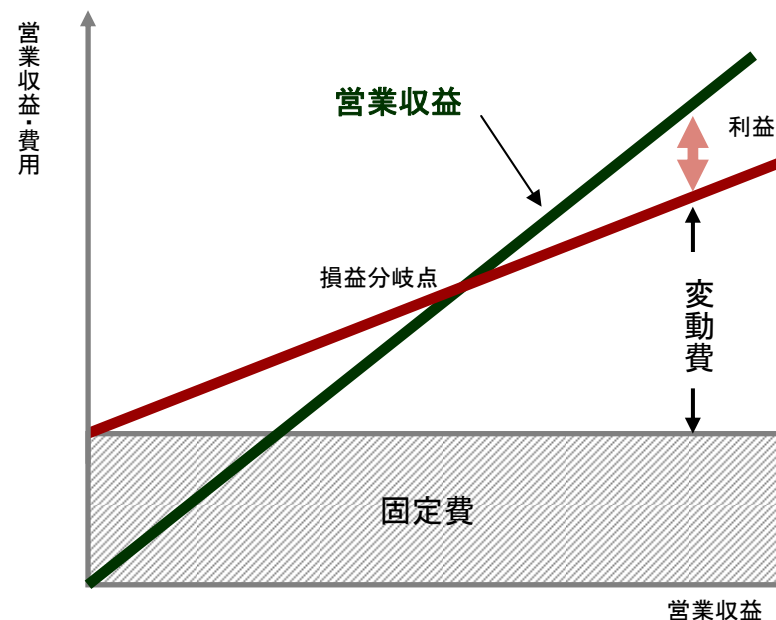
トランザクション型

マネーパートナーズ



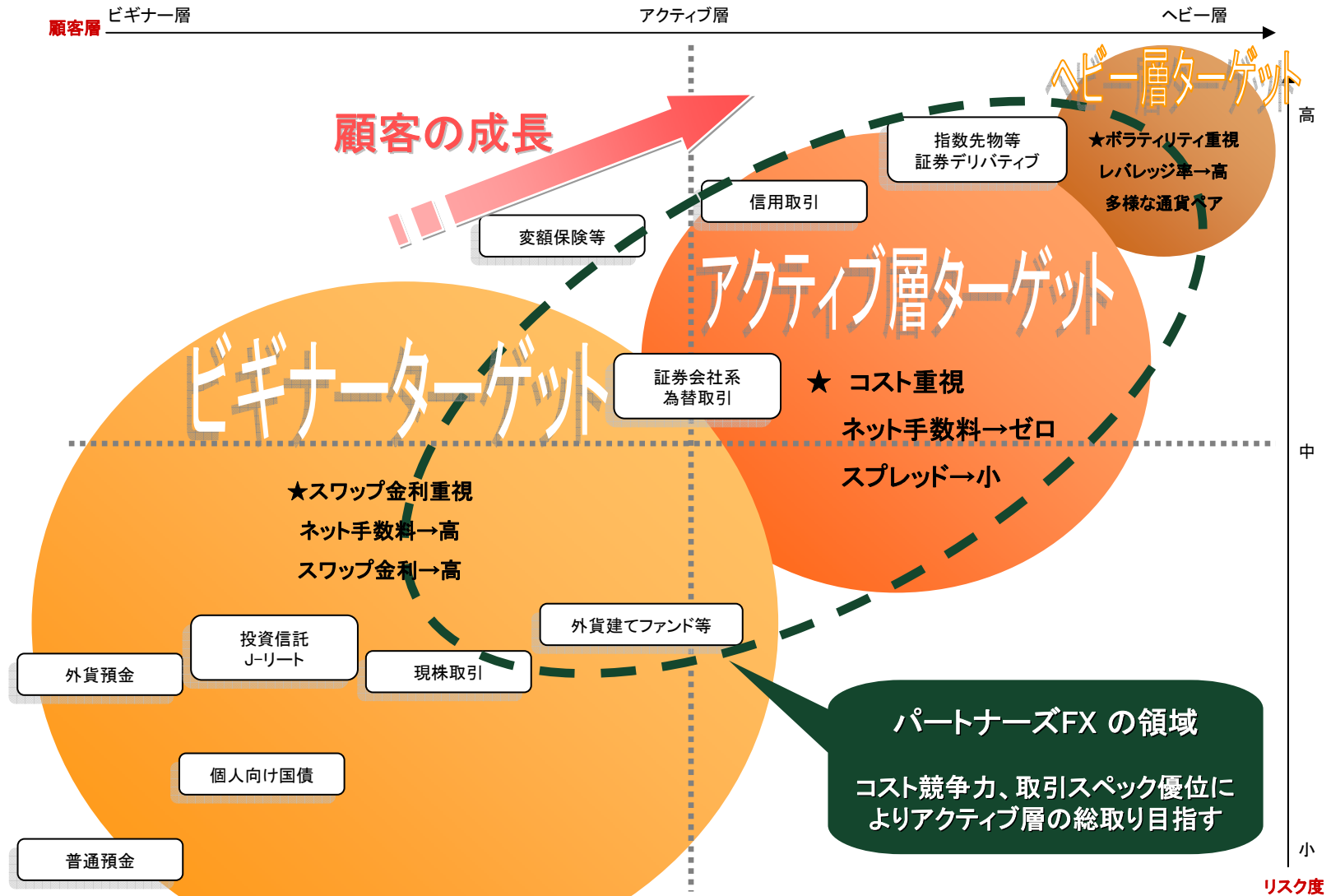
非トランザクション型

製造業、小売業・・・



固定費を超える売上がほぼ利益となる事業構造

2. アクティブユーザーをコアにした顧客基盤 ～パートナーズFXの商品特性と顧客層～



3. 子会社を通じたシステムの内製化 ～システム内製化によるメリット～



100%出資



株式会社 マネーパートナーズソリューションズ

■設立 2006年9月15日

■代表者 小西 啓太

■資本金 3,000万円

■主な事業内容

外国為替証拠金取引に関するコンピュータシステム設計・開発

◆システム内製化によるメリット◆

1. 独自の保守・運営体制確立によるコスト削減効果
2. 全社戦略に則った計画的・機動的なシステム設計・開発
3. システム自社開発・所有によるBtoBビジネス展開
4. 人材の確保とITスキルの蓄積

今後の当社システム開発における設計・要件の権利化と
合理化・コスト削減を目指す、システム子会社を設立

パートナーズFX

「パートナーズFX」は当社が取扱う外国為替証拠金取引のサービス名称です。

The screenshot shows the Money Partners trading platform. At the top, there are navigation tabs for '取引注文' (Orders), '取引照会' (Inquiry), '口座管理' (Account Management), '情報ツール' (Information Tools), 'お客様情報' (Customer Information), '報告書' (Reports), 'シミュレーション' (Simulation), and 'ホーム' (Home). Below this is a table of currency rates for USD/JPY, EUR/JPY, AUD/JPY, NZD/JPY, and GBP/JPY, each with bid and ask prices. A '新規注文' (New Order) section is visible, with options for '注文タイプ' (Order Type) and '注文内容' (Order Details).

This screenshot shows the '新規注文' (New Order) form and a 'レート表示' (Rate Display) window. The '新規注文' form includes fields for '通貨ペア' (Currency Pair), '数量' (Quantity), '執行区分' (Execution Type), and '注文レート' (Order Rate). The 'レート表示' window shows the current rate for USD/JPY as of 2007/02/08 18:17, with a list of other currency pairs and their rates.

パートナーズFXの顧客用トレード画面

初心者にもわかりやすいインターフェースを採用することで、幅広い投資家層の支持を得ています。

モバイル用パートナーズFXトレード画面

3キャリアに対応しており、24時間(※)動き続けるFX取引をサポート。

当社は、2005年6月に外国為替証拠金取引専門業者として設立し、業界に先駆けて新たなサービスを打ち出し、業界のリーディングカンパニーの1社としてサービスの提供を行っております。

※週末のNY外国為替市場の終了時から、翌週の東京外国為替市場の開始時までを除く

パートナーズFX の特徴① ～ネット取引がほぼ100%～



URL <http://www.moneypartners.co.jp/>

The screenshot shows the Money Partners website homepage. At the top, there's a navigation menu with categories like 'Partners FX', 'Service Guide', 'Market Information', 'FX Column', and '口座開設'. A large banner in the center promotes 'マネーパートナーズ' with a '手数料が0円' (0 yen fee) and '証拠金は定額' (fixed margin) offer. Below this, there are sections for '口座開設' (Account Opening), 'ニュース' (News), and 'コラム' (Columns). The '口座開設' section highlights a 'ハイレバコース' (High Leverage Course) with a 'さらには半額!' (even half price!) offer. The 'ニュース' section lists recent news items with dates. The 'コラム' section features various articles, including one about '外貨投資 転ばぬ先の杖' (Foreign Investment: A staff to prevent falling).

This screenshot shows a content page titled '外国為替とは? FX Beginners Guide'. It includes a table of contents with links to '外国為替とは?', '為替レートの見方', '円高・円安とは', '外国為替市場はどこにあるの?', and '為替市場は知らない'. Below the table of contents, there are several featured columns: '外国為替 月刊コラム' (Foreign Exchange Monthly Column) featuring an interview with 行天 豊雄 (Yukitani Toyohiko); '外貨投資 転ばぬ先の智慧' (Foreign Investment: A staff to prevent falling) by 田崎 智太郎 (Tanizaki Tomotarou); '市場養生訓' (Market Health Training) by 小川 幸伸 (Kogawa Yukinobu); 'サイバー・トレーダーの声なき声' (Voiceless Voice of Cyber-Traders) by 矢口 新 (Yakuchi Shin); and '為替の話・トレンドを掴め!' (Exchange Stories: Grasp the Trends!) by 木村 佳子 (Kimura Yoshiko). Each column includes a photo of the author and an RSS link.

This screenshot shows the account opening process on the Money Partners website. It features a progress bar at the top with steps labeled 'STEP 1' through 'STEP 5'. The main area contains a form with fields for 'ご氏名' (Name), 'フリガナ' (Furigana), '国籍' (Nationality), '生年月日' (Date of Birth), and '性別' (Gender). Below the form, there are sections for 'ご職業' (Occupation) and '主収入源' (Main Source of Income). A prominent text box on the right states: '口座開設の手続きは、ネット上でほぼ完結' (Account opening procedure is almost completed on the net).

ネットを介した取引がほぼ100%を占め、新規の口座開設もほとんどのお客様が当社のホームページ経由でお申込みされています。

パートナーズFX の特徴② ～充実した情報ツール～

為替は24時間(※)世界中で取引されており、レートも様々な要因で変動します。
世界情勢や重要な経済指標・要人発言はもちろん、テクニカル的な要因でも大きな変動をみせます。
そこで必要な情報として、マネーパートナーズでは、複数のチャートツールと複数のニュースをお客様に提供し、
投資判断を行う際にお役立ていただいております。

チャート: 高機能アプリケーションチャートシステム「ハイパースピード」
に加え、WEB版チャートシステム「MP Chart」など3種類

アジアンタチャート

MPチャート

ハイパースピード

ニュース: 「ロイターニュース」や1日150本以上のニュース
が配信される「Market Win24」など、3種類

Fiscoニュース

Reutersニュース

ロイターニュース

MW24

セミプロ層を中心に初心者まで幅広くサポート

※週末のNY外国為替市場の終了時から、翌週の東京外国為替市場の開始時までを除く

パートナーズFX の特徴③ ～ 主要な通貨ペアに対応～

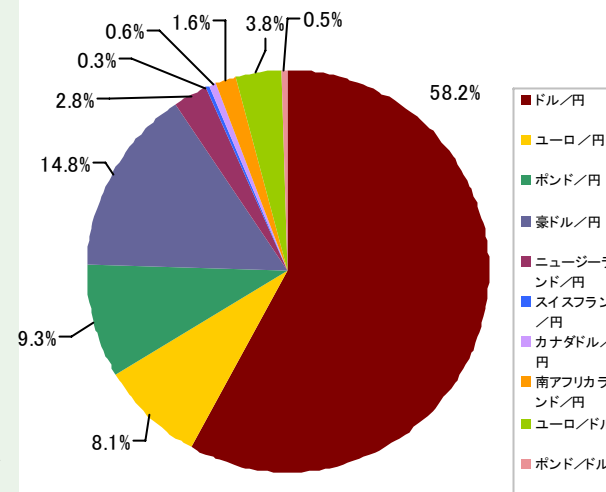
米ドルやユーロといった主要通貨をはじめ、高金利通貨として人気を集めるオーストラリアドル・ニュージーランドドルなどを取扱っています。

投資家のニーズに合わせて、各通貨ペアとも、インターバンク市場での取引単位の約100分の1となる10,000単位での取引を実現

当社取扱い通貨ペア

	USDJPY 米ドル円		AUDJPY 豪ドル円
	EURJPY ユーロ円		NZDJPY NZドル円
	GBPJPY 英ポンド円		ZARJPY 南アランド円
	CADJPY カナダドル円		CHFJPY スイスフラン円
	EURUSD ユーロ米ドル		GBPUSD 英ポンド米ドル

下記グラフは当社の平成20年4月度の取扱い通貨ペア別の売買高比率をあらわしたものです。

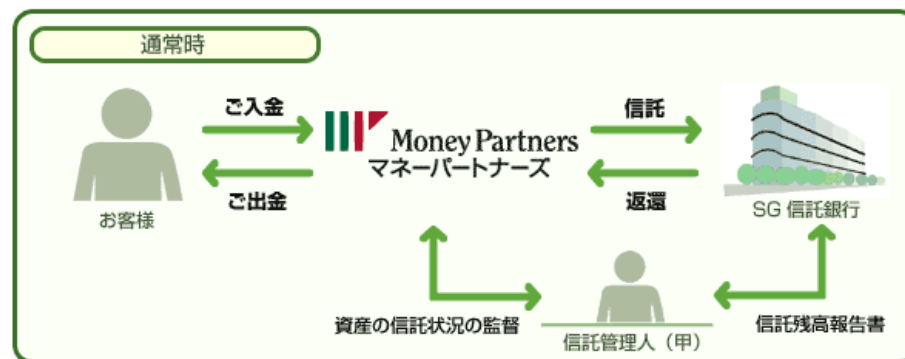


今後もお客様のニーズに合わせて取扱い通貨を増やしていく予定です。

パートナーズFX の特徴④ ～信託保全～

外国為替証拠金取引は、金融商品取引法に基づき、顧客資産の分別管理が義務付けられております。当社は、SG信託銀行と信託契約を締結し、顧客資産を信託口座にて分別管理しております。信託口座による分別管理を行うことで、当社が万一破綻した場合にも、信託管理人によって信託管理人口座からお客様へ直接返還される仕組みになっています。

お客様からのお預り資産は
全額信託銀行にて管理



万一の破綻時には、お客様へ
全額信託管理人口座より
直接返還されます



お客様に安心してお取引いただける環境を提供しております。

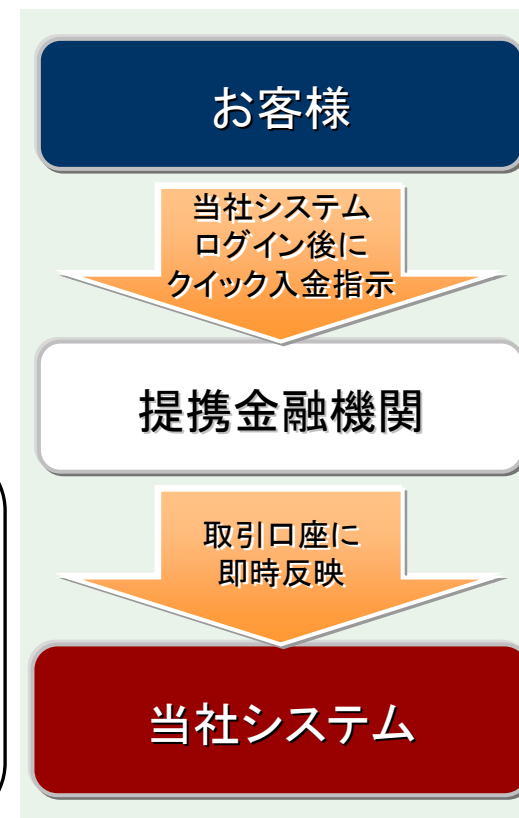
パートナーズFX の特徴⑤ ～クイック入金～

取引システム上で提携している金融機関から即時に取引口座に入金が行えるサービス「クイック入金」

クイック入金の主な特徴	
1	取引画面からスピーディな入金
2	入金手数料無料
3	24時間 ^(※) いつでも入金可能

提携先金融機関 平成20年4月末 現在 提携金融機関は今後も追加していく予定です。

三井住友銀行 三井住友銀行	みずほ銀行 みずほ銀行	ジャパンネット銀行 ジャパンネット銀行	イーバンク銀行 イーバンク銀行
ゆうちょ銀行 ゆうちょ銀行	三菱東京UFJ銀行 三菱東京UFJ銀行	住信SBIネット銀行 住信SBIネット銀行	



各種金融機関と提携することにより、動き続ける為替市場でのリスク管理や投資の機会損失に備える手段を提供しております。

※システムメンテナンス時間を除く

パートナーズFXは、取引通貨の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売り付けた際の清算金額が買い付けた際の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じることとなるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回ることとなるおそれがあります。

取引手数料はインターネット取引の場合、新規・決済共に無料(電話取引の場合は10万通貨単位未満の取引では1通貨単位あたり片道20銭、10万通貨単位以上の取引では1通貨単位あたり片道10銭)。取引に必要な証拠金は1万通貨単位あたり1万円(ハイレバレッジコースの場合5千円)から5万円で、通貨ペアごとに異なり、証拠金の約50倍(ハイレバレッジコースは約100倍)までの取引が可能です。各通貨の売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、約定代金の1.05%の手数料(最低手数料は525円、消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者)

〈登録番号〉関東財務局長(金商)第297号

〈加入協会〉日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会



Money Partners

株式会社マネーパートナーズ

2008年5月19日